

# LINE で動画を送る

このマニュアルは 次のページを参照して作成しました

<https://applio.com/line-video-send-trouble-shooting>

## LINE で動画を送る方法



- LINE のトークで動画を送るには、動画を新たに撮影したい場合、メッセージ入力欄の左にある **カメラボタン** をタップします。
- カメラが起動するので、下部にある丸い **シャッターボタン** を長押しして録画を開始します。
- 録画を停止すると撮影が終了し、編集画面になります。編集後に **送信** ボタンをタップすると、動画の送信が始まります。動画の容量によってはかなりの時間と通信パケットがかかるため、**自宅での Wi-Fi 環境下**などで送信したほうがよいでしょう
- 動画送信時に×またはキャンセルをタップすると、送信を中断できます。送信を再開もしくは取り消したい場合には、右に表示される矢印をタップすれば OK です。



- すでに保存されている動画を送る場合は、メッセージ入力欄の左にある**写真ボタン**をタップすると、カメラロール（ギャラリー）が表示されるので、ここから動画を選択します。
- 選択すると表示される送信をタップすれば、即座に動画が送信されます。

## LINE で動画を送る時の制限とは 動画の長さ（制限時間）

- LINE で送れる動画の長さは、**最長 5 分の動画**が送れます。



[左：エラー画面]



[右：編集画面]

- 5分を超える動画を送信もしくは撮影しようとする時、左上の画面にあるようなエラーメッセージが表示されます。撮影中であれば中断され、編集画面に遷移します。
- 編集画面では、シークバーで動画の範囲や長さを調節できるため、ここで5分以内に短縮（トリミング）することで送信できるようになります。

## 容量サイズ

- 容量サイズは**容量無制限**で送れるようになりました。ただし、そのままの容量サイズで送れるというわけではありません。様々なサイズで検証してみた結果は



[左：元の動画の容量サイズ]

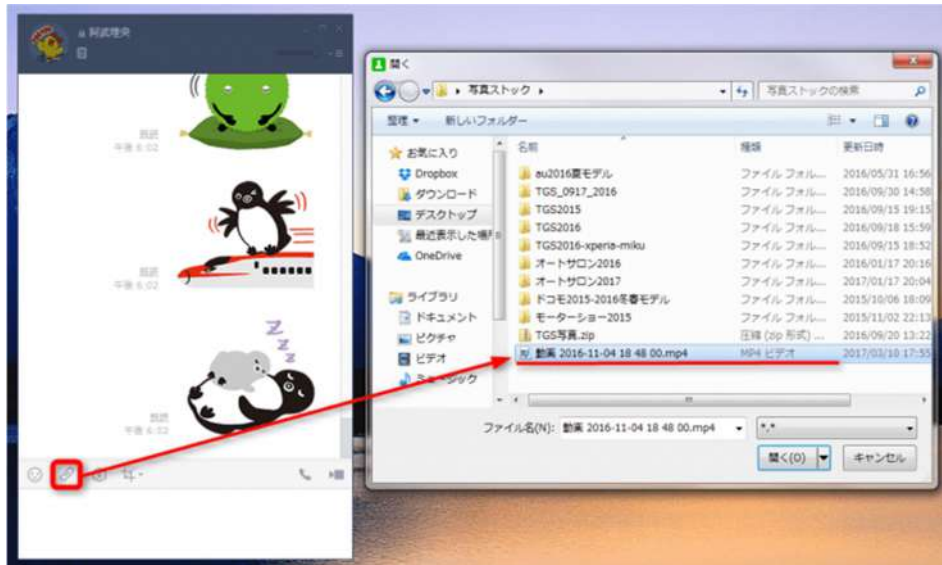


[右：LINE で受信した動画の容量サイズ]

- ① 631MB → 41.5MB (05 : 00)
- ② 82.92MB → 9.45MB (01 : 00)
- ③ 21.58MB → 1.55MB (00 : 10)

## ファイル形式

- PC (パソコン) 版 LINE から動画を送信する場合に注意したいのが、ファイルの形式です。場合によっては LINE で送信できない、あるいはスマホ側で見られない可能性があります。



[mp4 形式の動画なら確実に送受信できる (画面は PC 版 LIN) ]

最も確実なのが「mp4」です。スマホ端末で撮影した動画は、基本的には「mp4」のファイル形式で保存されますから、これなら確実に送受信できます。また検証したところ、動画の形式として代表的な「wmv」「avi」でも動画を送ることができ、スマホ側でも視聴（再生）できるようです（サードパーティ製アプリが必要な場合もあり）。

長さや容量といった条件はクリアしているのに動画の送信に失敗してしまうような場合には、これらの形式に変換して送信してみるとうまくいくかもしれません。



[サムネイルから動画を送る場合、編集がおこなえなくなる現象]

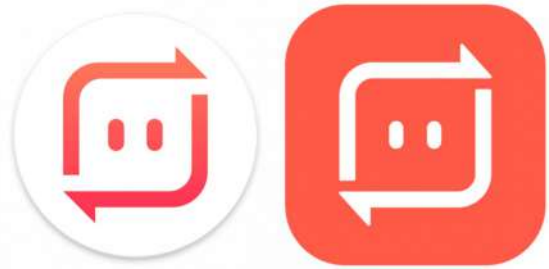
また現在、端末に保存されている動画を選択した場合には、長さを編集できません。

5分を超える動画を短縮して送りたい時は、撮影モードから送信するか、後述のサードパーティーサービスを利用する必要があります

## 高画質のまま／時間の長い動画を送る方法は？

手軽に動画のやりとりができるLINEですが、5分を超える動画が送れない、本来より画質が劣化してしまうなどのデメリットもあります。もし高画質のまま、ファイル形式にとらわれずに長い動画を送りたいと思ったら、別の手段をとる必要があるというわけです。

- ① ファイル転送専用サービスを使う
- ② AirDrop 機能で共有する（Apple 製品間のみ）
- ③ クラウドストレージを経由する
- ④ ケーブルで接続して転送する



中でも、①に該当する「Send Anywhere」を利用して送る方法は便利かつ簡単でおすすめです。詳しい手順などは以下の記事で詳しく解説しているので、参考にしてください。

[簡単すぎる、無料でケーブル不要のファイル転送テク パソコン・スマホ間で写真・動画データを送受信できる「Send Anywhere」](#)